

デジタル化の推進により市民への利便性を高めるべき

市役所内部や市民への事務処理を簡素化し利便性を高める。



黒岩 英雄 議員

デジタル化による市役所内部の改革について

議員 どのように進めていくのか。

市長 変化し続ける社会情勢や多様化する行政ニーズに対応していかなくてはならないと考えている。そのため、職員が企画立案や地域支援、住民への直接的なサービス提供といった業務や事務処理をデジタル化し、事務の効率化を進めていく。また、書面主義、押印原則、対面主義を見直し、申請手続のデジタル化に取り

組んでいく。

議員 デジタル化による市民への利便性をどのように考えているか。

市長 具体的にどの手続をオンライン申請対応にしていけるかについては今後調査、検討するとしているが、市役所の窓口に来なくても、専用の申込サイトやメールなどによって手続ができるよう、市民の皆様が便利と思えるデジタル化を進めていく。



デジタル化

教育委員会のデジタル化について

議員 教育委員会や学校現場のデジタル化の推進を聞きたい。

教育長 学校現場のGIGAスクール構想は、未来を生きる子供たちが、I

CTを基盤とした先端技術を活用する力を身につけるために、1人1台の端末及び高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備し、児童、生徒の学習に有効に活用されるよう推進する。教職員のICT指導力は遅れをとっているといわれているので、本市の教職員研修や関係機関と連携し、先生方の指導力の向上を図っていききたい。

GO TOヘルスケア

議員 今日までの対応と今後の対策を聞きたい。

市長 誘客キャンペーンの実施や、徹底した3密対策を実施している。

自転車道について

議員 自転車道の進捗状況は。

市長 国からの事業の認定及び、交付金の決定を受けて事業に着手している。

その他の質問

・役所内のWiFi、パソコン、タブレット、スマホ等の使用状況について

多目的運動広場の完成はいつか

令和4年2月の予定だ。



吉田 幸一郎 議員

議員 旧有馬商跡地の多目的運動広場の整備の目的は。

教育次長 スポーツ競技や健康づくりをはじめ多様なイベント・活動など多目的に利用できる施設として、市民の皆さんが集い、憩いの場所となることを目指して整備し、これをもって福祉の増進を図ることである。

議員 長崎県から贈与の条件は。

教育次長 『多目的運動広場の用途に供する』である。

議員 贈与の議案を平成

29年12月議会で可決し事業を進められていると思うが、多目的運動広場の進捗状況は。

市長 世界文化遺産原城跡の緩衝地帯に含まれており、地下遺構に与える影響について、文化庁や県教育委員会などの指導を受け評価を行ってきたために、目指していた11月中の工事着工が遅れている状況だ。今後の計画は、現在来年1月に、管理棟の建設工事及び屋外トイレ・倉庫の改修工事の入札手続に入る。屋内交流施設や人工芝の多目的広場等は、来年度に着工する。

議員 サッカー協会より芝生の競技施設整備に関する請願が出され、議会にて採択されている。また、ひまわり観光協会や中体連、高校などからも多目的運動広場の利用について要望がなされ、多くの関係者からも、この建設に当たっては、大きな期待と完成を待ち望んでいる。遅れている理由は分かるが、これ以上遅

れないように事業を進めていただきたい。次に、利用者数についてはどう考えているか。

教育次長 サッカーで2万2千人、グラウンドゴルフやウォーキングなどで約4千人、TEAMひまわりが実施する事業で約2千人、民泊の入村・離村式などで約1万1千人、合計で年間約3万9千人の利用を現在のところ想定している。

議員 利用者の半数が小中高生となっているが、市民であれば、減免措置を提案する。

教育次長 検討したい。

その他の質問
・市内高校の振興について



多目的運動広場イメージ

質問の様子を動画で見よう



質問の様子を動画で見よう

